第174号　2022年（令和４年）４月28日　発行／徳島市議会　編集／市議会だより編集委員会 ☎621-5115
徳島市ホームページのアドレス　http：//www.city.tokushima.tokushima.jp/

とくしま 市議会だより

〈主な内容〉

○３月定例会の概要……1
○一般質問・質問項目…2・3
○委員会のうごき……4

徳島中央公園の桜

３月定例会

令和４年度当初予算など可決

３月定例会は、３月７日から３月22日までの16日間の会期で開かれました。

開会日（３月７日）は、市長から、令和４年度徳島市一般会計予算や、防災・減災、国土強靱化を推進するための事業に係る補正予算など、36議案が提出されました。

続いて、議員提出議案としてロシアによるウクライナ侵略に強く抗議する決議案が提出され、この日全会一致で可決しました。

３月９日から11日までの３日間は、各会派８人の議員から、保育士の処遇改善や行財政改革、リコール署名活動などについて一般質問が行われ、14日と15日には各常任委員会を開会し、それぞれ付託された議案などの審査を行いました。

最終日（３月22日）は、各常任委員長から、付託議案の審査結果の報告があり、令和４年度一般会計予算は、記名投票（議長を除く）による採決の結果、賛成17票、反対10票で可決し、そのほかの議案については、いずれも委員長報告のとおり可決・同意・承認しました。

また、この日追加提出された固定資産評価員の選任（１件）、固定資産評価審査委員会委員の選任（１件）、人権擁護委員候補者の推薦（３件）について、同意しました。

続いて、議員提出議案として、行政組織の改正に伴う徳島市議会委員会条例の一部改正議案と「インボイス制度導入にかかるシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書」が提出され、それぞれ全会一致で可決しました。

最後に、議員提出議案として「市の事務執行に対する市議会議員の関与に関する調査特別委員会の調査経費についての決議」が提出され、採決の結果、賛成多数で可決し、３月定例会を閉会しました。

一般質問

新規採用職員研修（阿波おどり）

持続可能な阿波おどりの実現

【問】2022阿波おどりの開催を今後どのような方向性で進めるのか。

また、阿波おどりを将来にわたり持続可能なものとするため、今後、どのような認識を持って取り組もうとしているのか。

【答】2022阿波おどりについては、多様な市民や団体からなる新たな実行委員会を3月下旬に設立し、具体的な事業計画などについて審議することとしているほか、市民をはじめ多様な意見を取り入れるために公募委員を募集しているところである。

また、SDGsなどの視点を取り入れた新たな形の阿波おどりを積極的に展開するとともに、新たな取り組みとして有料演舞場へのネーミングライツ（※用語解説）の導入も検討している。

阿波おどりは参加者が性別や年齢に関係なく活躍できるダイバーシティの象徴であることから、次世代に受け継ぐべきものであると認識している。

そのため、新たな実行委員会においてダイバーシティの視点から障害者や子育ての分野などからも多様な意見を得たいと考えており、持続可能な阿波おどりの実現に向けて、新たな実行委員会の運営などについて、積極的に支援していきたい。

定年延長を見据えた職員定員管理のあり方

【問】市は、これまで定員の適正化、事務事業や組織体制の見直しなどを行い、労使一体となって厳しい行財政改革に取り組んできたが、今後、導入される定年延長を見据え、従前の職員定員管理に加えて、どのような認識でどう対応していくのか。

【答】定年延長制度は、昨年6月の地方公務員法の一部改正に伴い、令和5年度から導入されることになり、定年年齢が2年ごとに1歳ずつ段階的に引き上げられ、令和14年度からは65歳となる予定である。

また、60歳を超える職員は、一般職員として職員定数に含まれることになる。

職員数の適正化を今後も継続するためには、定年延長職員や再任用職員の配置を十分に整理し、加えて新規採用職員や会計年度任用職員を含む職員全体で調整を図る必要があると考えている。

そのため、市としては、今後の定年延長に伴う地方公共団体の定員管理の考え方を整理することとしている国の動向を注視するとともに、業務量を踏まえた職員配置の方針を再検討する中で、年齢構成の平準化を勘案しながら中長期的な視点から現在、検討を進めているところである。

市内一斉津波避難訓練

【問】市では、津波避難訓練を令和3年度中に10回以上実施することを目標にしていたが、訓練は何回実施したのか。

また、市民総合防災訓練を1年に二つの行政区で行っているが、津波避難に特化した訓練ではないため、この訓練とは別に、市内一斉津波避難訓練を行ってはどうか。

【答】津波避難訓練の回数については、令和3年度は川内町旭野地区の高速道路ののり面を活用した津波避難施設での訓練をはじめ、四国大学附属認定こども園や民間企業と連携した訓練を4回実施したほか、消防局職員が小・中・高等学校や保育園、幼稚園、事業所などに出向いて行う訓練を12回実施した。

市内一斉津波避難訓練の実施については、市が指定している津波避難ビルの大半が民間施設であるので現時点では困難であるが、地震発生時に自分の身を守るためには日頃からの訓練が必要不可欠である。

そのため、市では、参加者が家庭や職場などで、指定時刻にその場で一斉に身を守る行動をとるシェイクアウト訓練の実施を検討しており、この訓練をきっかけにその後の避難行動や緊急避難場所、非常持出袋の確認などにつなげてもらいたい。

3月定例会の質問項目（発言順）

（代表質問）

- 徳島活性会議　（岡　孝治議員）
  行財政改革
- 朋友会　（宮内　春雄議員）
  内藤市政、新型コロナワクチン接種、阿波おどり、本庁舎災害対応機能の強化、リコール署名活動
- 日本共産党徳島市議団　（船越　智子議員）
  中心市街地の活性化、上下水道局新庁舎と本庁舎地下の受変電設備等の移転、福祉灯油
- 公明党徳島市議団　（黒下　広宣議員）
  帯状疱疹を予防するために、地方税の納税業務のDX（デジタル・トランスフォーメーション）、公共工事における下請企業に対する適正な代金支払い確保、中小企業・小規模事業者へのインボイス制度対応 IT 導入支援、防災・減災対策
- 自由民主党徳島市議団　（山本　武生議員）
  市長の政治姿勢

（個人質問）

- 朋友会　（森本　聖子議員）
  不登校の児童・生徒への対応、保育士の処遇改善、家庭ごみ減量
- 日本共産党徳島市議団　（加戸　悟議員）
  内藤市長リコール署名
- 公明党徳島市議団　（岸本　和代議員）
  DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進、SDGs 目標達成への方途、産前・産後支援

市長解職請求署名提出後の認識

【問】このたび実施された市長に対する解職請求署名活動において、署名が7万1530筆集まったほか、署名をしなかった人からも、徳島市を信用できないという意見を多く聞いた。

市長は、選挙管理委員会への提出にまで至るほどの署名が集まっていることや、市民に信用されない徳島市になっていることについて、どのように認識しているのか。

【答】リコール署名活動の結果については承知しており、現在、署名簿は選挙管理委員会において審査中であり、今後の状況を粛々と見守っていきたい。

その上で、コロナ禍への対応をはじめ、中心市街地の活性化や子供・子育て支援の充実、防災・減災対策の推進、阿波おどりの継承・発信など、市政の重要課題にしっかりと取り組み、市民の皆さまの成果実感につなげていくことが市長の責務と認識している。

今後とも、市民の皆さまの意見や評価も受け止めながら、政策の意義や必要性を理解してもらえるよう、市議会の場をはじめ、さまざまな広報媒体を活用し、説明や発信に努めるとともに、市民のための市政運営にまい進していきたい。

四国大学附属認定こども園で実施された避難訓練

新駅設置計画の白紙撤回

【問】県は、新駅を設置すれば年間25万5千人が利用するとしており、それだけの人数が新駅を利用すると、徳島駅の乗降客の減少につながり、駅前の活性化に影響があると思うが、市はこれらを検討したのか。

また、県が実施したアンケートでは、85％の人が新駅を利用しないと答えているなど、反対の声が多く上がっているため、市は知事に新駅設置の白紙撤回を求めるべきではないか。

【答】新駅設置に伴う徳島駅周辺のまちづくりについては、新ホールの整備や青少年センターの機能移転、新駅の設置など、現在、市が策定している徳島駅周辺まちづくり計画から大きく動き出している状況であるため、そうした動きを取り込みながら、まちづくり計画の見直しを検討していきたい。

新駅については、県が実施したアンケートでさまざまな意見があることは承知しているが、県からは、新駅本体部分を県が担い、駅前広場をはじめとした公共スペースの整備を市が担うこととしたいという申し入れがあった。

そのため、市としては、新駅周辺の整備を基本的な役割として県やJR四国と十分に協議を行っていきたい。

※用語解説

【ネーミングライツ】
施設命名権とも呼ばれ、施設に企業名や商品などの名称を冠した愛称を付けることができ、対象施設を広告媒体として活用できる権利。

保育士などの処遇改善に向けた補助金

【問】国による「コロナ克服・新時代開拓のための経済政策」の一つである、保育士などの収入の引き上げや保育人材の育成と確保の支援を踏まえ、市は補助事業として1億1000万円を当初予算に計上しているが、これは、施設に勤務する全職員に一律に支給するのか。

また、この補助事業は令和4年9月までとなっているが、10月以降の対応は。

【答】補助金については、各園に対し職員1人当たり月額9000円程度が交付されることになり、その配分については各事業者に委ねられ、勤務時間などに応じて引き上げ額が一定でないところもあるが、おおむね配分された補助金を一律に収入の引き上げに活用しているようである。

令和4年10月以降の対応については、国において、補助金としての交付ではなく、民間保育園などの運営費である公定価格を見直すことにより、引き続き同様の措置を行うこととしているので、市としては、国の制度見直しを踏まえ、適切に対応していきたい。

4月1日に開園した沖洲認定こども園

行政手続きのオンライン化

【問】行政手続きのオンライン化について、他都市では、スマホによる申請で各種証明書が自宅に郵送されるオンライン申請や、本庁に出向かなくても手続きができるリモート窓口を実現しているが、これまでの市の取り組み状況と今後の対応は。

【答】市は、行政手続きのデジタル化の一環として、平成29年10月から住民票や印鑑登録証明書、戸籍事項証明書などを全国のコンビニエンスストアで取得できる証明書コンビニ交付サービスを開始している。

また、昨年10月には、住民課の窓口において、マイナンバーカードを利用して画面操作だけで各種証明書が取得できる「らくらく証明交付サービス」を開始し、市民サービスの向上に努めている。

今後の対応については、行政手続きのデジタル化が、市民サービスの向上をはじめ、業務の効率化にも役立つ重要な取り組みであることから、引き続き、マイナンバーカードの普及に取り組みたい。

さらに、デジタル技術を活用した利便性の高い行政サービスの提供についても、他都市の事例を参考にしながら、調査・研究を行いたい。

市長リコール署名

【問】人口規模の大きい県庁所在都市で市長リコール署名が選挙管理委員会に提出されたのは、全国で初めてであり、今回の署名数は、市長選挙での内藤市長の得票数4万1247票の1・7倍を超える7万1530人もの市民が市長の解職を求めており、即刻辞職するべきではないか。

【答】長の解職請求は、地方自治法に基づき、住民の権利として実施できる制度であり、今回の署名集めの結果については承知しており、現在、署名簿は選挙管理委員会において審査中であり、今後の状況を粛々と見守っていきたい。

今回のリコール署名活動では、リコールに賛成の人だけでなく、反対の人に対しても署名を呼びかけており、全ての署名が市長への反対署名であると姿勢を変えることについては、違和感を感じている。

市長として、まちづくりがしたいだけであり、未来の世代のために、この町が少しでもよくなればいいと思っている。

これからも、市民のための市政運営にまい進することをお誓い申し上げたい。

本会議をケーブルテレビで放映

ケーブルテレビ徳島、国府町 CATV では、市議会の活動を広く市民にお知らせするため、本会議の模様を生中継放映しています。

また、中継日のそれぞれ 3 日後の午後 7 時から、録画放映も行っています。

お問い合わせは、議会事務局（TEL 621−5115）まで。

ケーブルテレビ放映チャンネル

ケーブルテレビ徳島	122ch
国府町 CATV	112ch

傍聴における注意点

議会の傍聴に当たって、次のことを守っていただく必要があります。円滑な議会運営のため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

・発言したり、騒ぎ立てたり、みだりに席を立ったりしないでください。
・議場における言論に対して拍手やその他の方法で公然と可否を表明しないでください。
・写真やビデオを撮ったり、録音したりすることはできません。ただし、特に議長の許可を得た人は、この限りではありません。
・携帯電話など音の発生する機器の電源を切るようにしてください。
・飲食または喫煙をしないようにしてください。
・はち巻き、腕章の類をするなど示威的行為をしないようにしてください。
・帽子、マフラー、コートの類を着用しないようにしてください。ただし、病気その他の理由により議長の許可を得たときは、この限りではありません。
・その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をせずに、係員の指示に従うようお願いいたします。

3月定例会で可決した決議・意見書

ロシアによるウクライナ侵略に強く抗議する決議

本年2月24日から開始されたロシアによるウクライナへの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、ウクライナ国民をはじめ、ウクライナに拠点を持つ日本企業及び現地在留邦人も厳しい状況に置かれている。

このような力による一方的な現状変更の試みは、アジアを含む国際秩序の根幹を揺るがす明らかに国際連合憲章に違反する行為であり、断じて容認することはできない。

本市では、人々が等しく平和に暮らせる世界の恒久平和実現を願って平和都市宣言を行っており、ウクライナへの侵略はそのような市民の願いに反するものである。

よって、徳島市議会は、国際秩序を脅かすロシアによるウクライナへの侵略に対し、断固として抗議する。また、日本政府においては、現地在留邦人の安全確保に最大限努め、国際社会と緊密に連携しながら、ロシアに対する厳しい制裁措置を講じるとともに、無条件かつ完全なロシア軍の即時撤退を要求するよう、強く求める。

インボイス制度導入にかかるシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書

シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することで高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実や健康の保持増進のみならず、地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などにも貢献している。

現在、センターでは、請負・委任にかかる会員への配分金に消費税を含めて支払いを行い、仕入税額控除を行っている。

一方、令和5年10月に導入が予定されている適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度においては、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行できないため、センターは仕入税額控除が行えず、税負担が増大するという問題が生じる。

公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源確保が困難な上、料金を引き上げれば発注者のセンター離れにより受注が減り、また配分金を引き下げれば会員の退会者が続出し事業の衰退を招くおそれがあることから、センターにとってまさに運営上の死活問題である。

加えて、人生100年時代を迎え、国を挙げて生涯現役社会の実現が求められる中、地域社会への貢献に重きを置いた「いきがい就業」をしている会員に対して、形式的に個人事業者であることをもってインボイス制度をそのまま適用し、高齢者のやる気や生きがいを削ぐことがあってはならない。

よって、国においては、センターの特性や社会的意義を十分に考慮し、センターが安定的な事業運営を継続できるよう、センター会員への配分金について、インボイス制度の適用を除外する等の適切な措置を講じるよう、強く要望する。

市の事務執行に対する市議会議員の関与に関する調査特別委員会の調査経費についての決議

本議会は、市の事務執行に対する市議会議員の関与に関する調査特別委員会の調査に要する経費として、令和4年度においては、100万円以内とするものとする。

委員会のうごき

３月21日に開通した吉野川サンライズ大橋

総務委員会

▼**2月24日**
「新ホール整備について」ほか１件の審査を行うとともに、「令和４年度行政組織の改正について」ほか４件の報告を受けた。

▼**3月14日**
付託された10議案のうち、議案第１号「令和４年度徳島市一般会計予算」中、当委員会関係部分ほか１議案については、賛成多数で原案を可決すべきものと決定し、他の８議案については、いずれも全会一致で原案を可決・同意すべきものと決定した。

▼**3月15日**
付託された14議案のうち、議案第１号「令和４年度徳島市一般会計予算」中、当委員会関係部分ほか１議案については、賛成多数で原案を可決すべきものと決定し、他の12議案については、いずれも全会一致で原案を可決・承認すべきものと決定した。
また、請願第１号「インボイス制度導入にかかるシルバー人材センターへの適切な措置を求める請願」については、全会一致で採択すべきものと決定した。
なお、当委員会委員連名により、議員提出議案第３号「インボイス制度導入にかかるシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書」を別途議長宛て提出した。

文教厚生委員会

▼**2月28日**
「新ホール整備関連事業について」ほか４件の審査を行うとともに、「令和４年度教育委員会事務局組織の改正について」ほか１件の報告を受けた。

▼**3月14日**
付託された８議案のうち、議案第１号「令和４年度徳島市一般会計予算」中、当委員会関係部分ほか１議案については、賛成多数で原案を可決すべきものと決定し、他の７議案については、いずれも全会一致で原案を可決すべきものと決定した。

建設委員会

▼**3月3日**
「鉄道高架事業について」ほか４件の審査を行うとともに、「徳島県水道広域連携における物品の共同購入について」ほか２件の報告を受けた。

▼**3月15日**
付託された10議案のうち、議案第１号「令和４年度徳島市一般会計予算」中、当委員会関係部分ほか１議案については、採決の結果、可否同数となったため、委員長の裁決権を行使し、原案を可決すべきものと決定し、他の８議案については、いずれも全会一致で原案を可決・同意すべきものと決定した。

産業交通委員会

▼**3月1日**
「阿波おどり事業について」審査を行い、「令和４年度行政組織の改正について」報告を受けた。

▼**3月14日**
付託された８議案のうち、議案第１号「令和４年度徳島市一般会計予算」中、当委員会関係部分については、賛成多数で原案を可決すべきものと決定し、他の７議案については、いずれも全会一致で原案を可決すべきものと決定した。

同意した人事案件

▼固定資産評価員
須藤　浩三

▼固定資産評価審査委員会委員
原田　吾朗

▼人権擁護委員候補者
岡本真貴子
大家　智子
岩見　亮

市の事務執行に対する市議会議員の関与に関する調査特別委員会

1月28日、2月16日、4月11日に同委員会を開会し、証人の出頭請求や記録の提出要求などを決定した。
2月16日には、当時の土木部長である石川稔彦氏を4月27日午前10時に、当時の税務事務所長である日下裕司氏を同日午後1時30分にそれぞれ証人として出頭を求めることと証言を求める事項について決定した。
4月11日には、元保健福祉部長の鈴田善美氏を証人喚問した。

【鈴田善美氏に証言を求めた事項】
1　平成30年4月になされた、認定こども園の設置地区に対する市議会議員の申し入れについて
2　平成30年5月になされた、認定こども園の立ち入り調査に対する市議会議員の申し入れについて
3　平成31年1月から令和元年11月になされた、認可外保育所の認可時期及び第2期子ども・子育て支援事業計画策定過程における施設選定に対する市議会議員の要望とその対応について
4　令和元年9月になされた、第2期子ども・子育て支援事業計画策定過程における新規参入に対する市議会議員の要望について
5　令和元年8月から令和2年4月になされた、介護事業者に対する介護報酬返還請求における市議会議員の関与とその対応について
6　令和2年3月になされた、認定こども園の建設場所変更に対する市議会議員の関与とその対応について
7　令和元年6月になされた、市立保育所再編計画策定過程における市外事業者参入に対する市議会議員の申し入れについて

【石川稔彦氏に証言を求める事項】
令和元年10月になされた、認定こども園に関係する道路整備に対する市議会議員の関与とその対応について

【日下裕司氏に証言を求める事項】
平成30年7月及び8月になされた、市税滞納処分に対する市議会議員とのやり取りについて

議会日誌（令和３年10月～令和４年３月）

10月	6日	決算審査特別委員会（企業会計）：６日～８日
	18日	市議会だより編集委員会
	19日	決算審査特別委員会（一般・各特別会計）：19日～22日
11月	2日	国府小学校マーチングバンド、加茂名南小学校吹奏楽部が表敬訪問
	4日	第２回市の事務執行に対する市議会議員の関与に関する調査特別委員会
	9日	八万ファイヤーインパクト（小学生ドッジボールチーム）が表敬訪問
	10日	全国市議会議長会　第225回理事会・第111回評議員会（東京都）
	16日	議会運営委員会
	17日	防災対策特別委員会
	19日	まちづくり対策特別委員会
	24日	総務委員会
	25日	文教厚生委員会
	26日	産業交通委員会
11月	29日	建設委員会
	30日	令和３年第５回定例会（12月議会）：会期11月30日～12月16日
12月	1日	徳島市立高等学校弓道部が表敬訪問
	16日	図書室運営委員会
	27日	FC STORY Tokushima メニーナ（女子中学生サッカーチーム）が表敬訪問
1月	14日	市議会だより編集委員会
	20日	議会運営委員会、文教厚生委員会
	28日	第３回市の事務執行に対する市議会議員の関与に関する調査特別委員会
2月	3日	千松小学校合唱部が表敬訪問
	16日	第４回市の事務執行に対する市議会議員の関与に関する調査特別委員会
	17日	議会運営委員会
	18日	防災対策特別委員会
	21日	まちづくり対策特別委員会
2月	22日	子育て・健康長寿特別委員会
	24日	総務委員会
	28日	文教厚生委員会
3月	1日	産業交通委員会
		徳島市立高等学校男子ハンドボール部が表敬訪問
	2日	徳島県市町村振興協会理事会
	3日	建設委員会
	7日	令和４年第１回定例会（３月議会）：会期７日～22日
	11日	徳島中央リトルシニア（中学生硬式野球）が表敬訪問
	16日	南井上ブルドッグスクラブ（小学生ミニバスケットチーム）が表敬訪問
	18日	徳島県太極拳協会　武極　Tokushima が表敬訪問
	22日	図書室運営委員会
	23日	八万ファイヤーインパクト（小学生ドッジボールチーム）が表敬訪問

徳島市立高等学校ハンドボール部

徳島市立高等学校弓道部

武極 Tokushima

FC STORY Tokushima メニーナ

※写真撮影用にマスクを外しています